

台風19号・福島県内でも大きな被害



10月12日、日本列島に上陸した台風19号は各地に甚大な被害をもたらしました。記録的大雨により、長野、福島、宮城など、7県の68河川で125カ所が決壊し、多くの尊い人命が奪われ、家屋やインフラを破壊し、農作物や農業施設の被害も甚大です。

県内各地の被害状況と支援報告

須賀川市和田地区では阿武隈川の越水によりこれまでになく被害を受けています。会員が数名いる地域ですが、床上浸水、トラックや農機具も浸水しています。須賀川農民連では被害調査をする中で、支援が必要な方に会内で片付けの支援を始めています。21日には会津農民連から飯塚達雄さんと佐藤弘之さんが支援に参加してくれました。「俺のところは稲刈りが終わっているから、何か手伝うことはないか」と事務局に声をかけていただいていた。その日は水で濡れた畳の廃棄を行うため、男手が必要だったので助かりました。この日集まったのは、須賀川の会員と県連事務局も含めて8名で、軽トラ4台で12台分を災害ゴミ収集所へ運び出しました。今、被災地で必要なのは「人手」です。21日以降も、被害を免れた会員や県連事務局などが協力して、現地での支援活動を行っています。現在は住宅と納屋等の片づけですが、今後農地の泥だしなどもあり、支援はまだ必要です。

力でないとなかなか進まない。人手はいくらあっても助かる」と話します。伊達市でも山間地の土砂崩れや圃場浸水の被害が広がっています。梁川町山舟生地区では大規模な土砂崩れにより、会員宅への道が寸断、母屋には到達しなかったものの納屋にも大量の土砂が流入しました。またほかの会員宅では、倉庫の地盤が崩落し、建物の半分が浮いているような状態のところも。保原町では、ハウス高設いちご栽培施設が浸水被害を受け、今年の栽培をあきらめることに。再開するとしても、撤去や施設の新設などハードルが高く、別の高台の農地で土耕いちご栽培に切り替えることにするそうです。ほかに桃の園地では木が完全に冠水するような被害を受けたところも。

また二本松市東和地区では安達地方農民連会長・佐藤佐市さん宅でビニールハウス12棟などが被害を受けました。土砂と水が流入し、ハウスパイプなどの解体作業を余儀なくされています。23日には菊地好幸副会長を含め、地域から5名が支援に駆けつけ、土砂の撤去やハウスパイプの解体作業が始まりました。前日降った雨で足元がぬかるむ中、慣れた手つきで声を掛け合いながらの作業。佐藤会長は「道路側の水はけが悪いので川下から手を付けた。人

このほかの地域でも、本宮市、郡山市、白河市などの阿武隈川流域で大規模な氾濫が発生し、県内各地で大きな被害が出ています。農民連は、全国各地で被災者の安否確認、片付けボランティア、炊き出しなど被災者救援に全力をあげ、被災地の調査を行っています。農民連会員に人的被害はなかったものの、各地での復旧はまだまだ時間が必要な状況です。福島県農民連では、被害にあった農家への支援、また行政機関への被害対策の要請を行っています。一日も早く営農の再開ができるよう行動してまいります。



募金協力をお願い

みなさまに災害支援募金のご協力をお願いいたします。

振込先

ゆうちょ銀行（郵便局）からの募金
記号 18220
口座番号 36853621
加入者名 福島県農民運動連合会

ゆうちょ銀行以外の金融機関からの募金
店名 八二八（読み ハチニハチ）
店番 828
預金種目 普通預金
口座番号 3685362
口座名義 福島県農民運動連合会

台風19号水害支援活動をして

水害のボランティアに行くべえ

毎日のニュースでその気になった。二人で参加。

農民連県連と連絡をして須賀川に行くようになった。どんな状況なのか、いろいろと想像しながら道具を準備。当日スコップも持参。現場に行く前に事務所の方々から話を聞き、会員の自宅に行き、水に浸かった跡形。1m20cm位。「こりゃ大変だっただろう」と想像。先ず一番に軽トラに畳を二人で持ち上げるとすごく重たい。水を含んでいるので、中にはカビが。「どっこいしょ、どっこいしょ」軽トラに積み、捨て場に。車は行列、1時間半待ち。捨て場には家具類、米の入った袋など山積み。ぬれた布団、リンゴを入れるダンボールなど運搬。涙が出ました。俺がそうだったら!

家に帰ってきて、かあちゃんから一言。「ご苦労さんでした。」心が落ち着きました。良い一日でした。

地球温暖化 みんなで考えよう!

会津農民連 T・I

農民連フラッシュ flash

農民の怒りひびけ! 秋の空に

10月9日、安達地方農民連第6回目の「軽トラパレード」が行われ、軽トラ11台・19名が参加し、安倍首相は日米貿易協定で最終合意、農産物輸入額の半分を市場開放する屈辱的なもの、消費税増税と共に農業や地域経済に大きな打撃を受けると怒りを込めたパレードとなった。



青年部の活動、地元の農や食のことをリレーで紹介 / 若い農業者のつみやき のーと せいねんぶ農人

今年は春の高温に長引いた梅雨、台風19号から続く大雨など多くの気象災害に翻弄された一年でした。であればこそ自然と密接に関わる農業の価値はますます大きくなっていると感じます。写真は南相馬市小高区で行われたオーガニックコットンの収穫祭。人と農を繋ぐこと取り組みはこれからも続きます。 by三浦



太陽光発電用地募集

太陽光発電用地をお貸しいただける方を募集しています。

- ① 約1000~2000㎡の遊休地
- ② 日当たりがよい
- ③ 宅地、雑種地、林地、原野などの地目の土地
- ④ 賃貸条件:100円/坪(年)

ご連絡いただければ、現地を確認させていただきます。

【連絡先】福島県民連産直農業協同組合 担当:佐々木健洋
Tel 024-546-7229 fax 024-546-8804
メールアドレス:stake@vmail.plala.or.jp

